

第36回東京モーターサイクルショーの報告



まずこちらの画像は、「バイクによるまちおこし」でお馴染みの埼玉県秩父郡小鹿野町より、フランスのスコルパ社製スコルパのレスキューバイクです。モーターサイクルショーに、自治体がブースを出展したのは埼玉県秩父郡小鹿野町が初めてということで、各方面の関係者が多く来場したそうです。このようにライダーに優しい自治体が増えるよう、私たちもマナー向上に努めていかなければいけませんね。

国内メーカーの注目バイク



今年の注目は、**カワサキZRX1200DAEG**と**ヤマハVMAX**でしょうか。両車とも展示品に跨って乗車姿勢等を確認したところ、**VMAXの方が足着き性が良かった**気がします。今回試乗はしていませんが、各メーカーごとの試乗会に参加して乗り味等を確認したいと考えています。

VMAXは、国内モデルでも111kW (151PS) なので、「初心者の方は遠慮なさった方がいいかも」と思いました。



こちらの画像は、テレビのキー局でもオンエアされている**ホンダVTR**です。排気ガス規制で一時は生産中止に追い込まれましたが、見事復活しました。**コンパクトで取り回しもいいので、腕力に自身のない方やセカンドバイクにと、多方面で期待が持てるバイクになりそうです。**

同じく一時生産を中止していた**スズキGSR400**が、排気ガス規制に対応すると同時に、**最高出力も45kW (61PS) で復活しました。**

その他注目のバイクたち



左の画像はホンダGOLDWING1800のサイドカーに見えますが、バイク側はトライク（3輪）＋サイドカー仕様です。普通自動車免許で運転可能です。

右の画像はホンダNRをベースにしたポケバイで、ベースになったホンダNRは、エンジンはV型4気筒32バルブの750cc。ピストンが楕円形で、コンロッドも1つのピストンに2本ついて、車両価格も驚きの520万円でしたね。



左の画像はホンダCB1300SBの白バイ仕様であります。ウインカー・ミラーの位置が変更されているのが分かります。「白バイも大型化して厄介な存在になった」と感じました。

右の画像はホンダズーマーをベースに、ガソリンとLPG両方使えるバイクです。「今年は桜の開花時期が例年より早い」と報道されていますが、それだけ地球の環境問題が進行している現れだと思えます。これからは「環境に負荷を与えず、クルマのように移動するだけの道具にならないようなバイク造りが求められるのでは」と思います。

編集後記

今年も東京モーターサイクルショーに行ってきましたが、バイクを見て云々というよりも、いつも購読している雑誌の編集部や、テレビ等で活躍している方への挨拶回りになっています。場合によっては相手方のブログ等にコメントを書き込めるけど、やはり顔を合わせることで、両者の信頼を高めると考えています。

バイクに関しては、全国から来場する開場でゆっくり見るのは難しいのため、各地で開催されている試乗会に参加し、その時ゆっくりと動力性能を確認したいと考えています。

自治体で初出展となった、埼玉県秩父郡小鹿野町のまちおこし事業に、私自身大きな期待をしております。GW中にイベントがありますので、是非お出かけください。

以上です。